

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅲ		
担当者(Instructors)	船木 恵一	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)
最終学年の専門演習では、大学における学習生活の集大成として、学生の主体的な個人研究～ゼミ論文作成と進路に関する活動をベースとしながら、ゼミとして時事的なトピックスや企業のマーケティングに関するテーマ学習等に取り組み、社会人になるための準備として、論理的思考力、表現力、コミュニケーション力の向上を図るとともに、生涯学習や自己啓発の重要性を理解してゆきます。

■ 授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	論文作成と進路活動では学生の主体的な活動に加え適宜ゼミ全体で情報交換を行います。テーマ学習では、①ディスカッション、②ディベート、③グループワーク、④フィールドワーク、⑤プレゼンテーション等を行います。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	春休み期間中の活動報告及び前期の行動計画の作成	前年度の単位取得状況の確認、卒業に必要な単位数の確認を行います。また春休み期間中の活動報告と前期の行動計画作成を行います	☐
第2回	進路及び個人研究（ゼミ論文執筆）活動の報告	各自、就活や進路に向けた活動報告、ゼミ論文の進捗状況を報告します。（必要に応じて個人面談を実施します）	☐
第3回	テーマ学習①ディスカッション	テーマ学習の題材、対象、領域に関してディスカッションを行います。	☐
第4回	進路及び個人研究（ゼミ論文執筆）活動の報告	各自、就活や進路に向けた活動報告、ゼミ論文の進捗状況を報告します。（必要に応じて個人面談を実施します）	☐
第5回	テーマ学習②ディベート	選択した対象の論点を整理するために、仮設の設定と仮説に基づくディベートを行います（他演習からの参加学生を募る場合があります）	☐
第6回	進路及び個人研究（ゼミ論文執筆）活動の報告	各自、就活や進路に向けた活動報告、ゼミ論文の進捗状況を報告します。（必要に応じて個人面談を実施します）	☐
第7回	テーマ学習③グループワーク	テーマ学習に関してグループワークを行います。フィールドワークの設計や作業に関する行動プランを作成します。	☐
第8回	進路及び個人研究（ゼミ論文執筆）活動の報告	各自、就活や進路に向けた活動報告、ゼミ論文の進捗状況を報告します。（必要に応じて個人面談を実施します）	☐
第9回	テーマ学習④フィールドワーク	グループ単位で設計したフィールドワークに取り組みます。状況に応じて授業時間外活動になる場合もあります。	☐
第10回	進路及び個人研究（ゼミ論文執筆）活動の報告	各自、就活や進路に向けた活動報告、ゼミ論文の進捗状況を報告します。（必要に応じて個人面談を実施します）	☐
第11回	テーマ学習⑤プレゼンテーション準備	フィールドワークの成果を整理し、プレゼンテーションとしてまとめる作業（文書化）を行います。	☐
第12回	進路及び個人研究（ゼミ論文執筆）活動の報告	各自、就活や進路に向けた活動報告、ゼミ論文の進捗状況を報告します。（必要に応じて個人面談を実施します）	☐
第13回	テーマ学習⑤プレゼンテーション実施	ゼミ内でプレゼンテーションを行います。（要望に応じて他演習生や他教員の参加を求めます）	☐
第14回	進路及び個人研究（ゼミ論文執筆）活動の報告	各自、就活や進路に向けた活動報告、ゼミ論文の進捗状況を報告します。（必要に応じて個人面談を実施します）	☐
第15回	前期活動の総括と夏期休暇期間の活動計画作成	前期の振り返りと夏期休暇期間の行動計画を作成します。	☐

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)
個人研究とゼミ論文の執筆は、授業時間外の取組が多くなると予想されます。ゼミでは隔週にて進捗状況を報告してください。報告日以外は、テーマ学習に関する予習及び準備を毎回約1～2時間ほどおこない授業に備えてください。また授業後に約1時間程度の復習を行うことで理解を深めてください。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)
隔週の報告日において個人研究（ゼミ論文）指導を行います。テーマ学習に関しては、授業内にて全体講評と個人成果や課題についてゼミ全体にて意見交換を行い、担当教員のみならず学生同士のフィードバック機会を設け、相互学習とします。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 2018地域ビジネスDP2	テーマに関して社会全体との関連で幅広く思考し、多面的な判断の上、自分の考えを発信できる。
	◇ 2018地域ビジネスDP3	さまざまな個性・利点・問題点を抱えた地域におけるビジネスを通じ、多様な人々と協働し、地域とつながり、地域社会の活性化・発展に貢献できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	0%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

テーマ学習の取り組みについて、積極性・主体性・チームワーク・リーダーシップや取り組みの成果を総合的に判断します。

■テキスト(Textbooks)		
No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	ありません。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて教員が授業内で提示します。	
2		
3		
4		
5		